

令和 7 年度第 4 回長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会  
(長野市版子ども・子育て会議)  
会議要旨

- 開催日時 令和 7 年 8 月 29 日(金) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで
- 開催場所 第一庁舎 7 階 第一・第二委員会室
- 出席委員 水口委員、渡邊委員、和田委員、塚田委員、北村委員、宮下委員、倉島委員、日台委員、阿出川委員、山崎委員、石垣委員
- 欠席委員 田中(亜)委員、塚原委員、宮本委員、田中(宗)委員、中村委員、松田委員
- 事務局出席者 島田こども未来部長、丸山こども政策課長、中村子育て家庭福祉課長、宮下保育・幼稚園課長、石坂こども総合支援センター所長ほか

発言者	内容
	1 開会
会長	2 挨拶
事務局	3 議事 長野市の若者に関する計画素々案について  資料 1 に基づき説明  《質疑応答》
委員	地域や行政において若者の意見が反映されていると思わない人が 6 割以上いることに対し、必要な支援の方向性として、若者の意見を反映する仕組みとあるが、それだけでなく、反映できない意見に対しても、何らかのフィードバックをすることも検討してもらいたい。
委員	現在 33 歳だが、自身が四つの個別施策に該当してこないと感じた。子育て世代に当てはまらないような気がする。困難を抱えている人のみが対象となる計画なのか。
事務局	福祉的要素が強く映るかもしれないが、対象者を限定しているわけではなく、全ての若者に該当するものとして考えている。
委員	居場所の確保についての必要な支援として、場所や空間といった居場所の確保だけではなく、そこにいる人の人材育成も重要と考える。 その場にいる人の理解度が当事者の支えになることもある。また、コミュニティができあがってしまっている空間で、自身を認めてもらえたと感じられるような居場所の提供についても考えてもらいたい。

発言者	内容
事務局	今後の参考にさせていただく
事務局	若者のワークショップの参加者はどのような形で参集したのか。
事務局	長野青年会議所に協力いただいた。
委員	すでに若者支援を実施している支援団体に対する支援や協力体制の確保などのバックアップ体制を、個別施策として1つ設けたらよいのでは。
事務局	既に連携している団体も数多くあるので、今後整理していきたい。
委員	施策が一つのみで漠然としていていると感じた。理念、目標、視点から、もう少し具体化していけたらよいのでは。
事務局	次回、個別施策の下に事業がぶら下がっているものをお見せできると思うが、その整理をする中で、もう少し検討していきたい。
委員	3割超の人が、将来への希望がないと答えているが、理念について、見つけられない希望をかなえる未来と感じてしまう。3割の人について、もう少し考えていくべきでは。居場所がなくても、社会参画の場がなくても、自身が楽しく生きていけるウェルビーイングがベースと考える。
事務局	支援が必要な方もいるし、必要としていない方もいる。そこを漏れなく計画にどう反映していくかは非常に難しい。引き続きご意見をいただきたい。
委員	<p>基本理念について、案①だと、社会や大人などの誰かによって、個性や価値観を尊重されるものと感じる。大きな理念が誰かによってというものでよいのか疑問を感じる。かなわない希望もあるのでは。希望がかなわなくても、幸せに生きていくこともできると感じる。</p> <p>一人一人が、一人一人の価値観の中で、幸せだと感じられる社会というのがベースではないか。希望をかなえられる未来の実現を目指すのは無理があると感じる。</p>
委員	希望や夢を持たないといけないといった価値観を押し付けるようなものではなく、背中をそっと押してあげられるような、困ったときにいつでも頼っていいと思ってもらえるようなものがよいのではないか。
委員	若者だけではなく、社会全体に当てはまるものと感じた。基本理念は、この二つの案だけでなく、もう少し議論していくべきではないか。何かあったときに、助けを求める場所がある、求める人がいる社会、誰もが存在を認められる社会にしていくというニュアンスが盛り込めるとよい。

発言者	内容
委員	<p>基本理念について案が二つでなく、もっとあってよい。多様な価値観を持たなければいけない、個性を持たなければいけない、自分らしく成長しなければいけない、成長しなければ生きていけないなど、押し付けるようなものでないこと。また、困難な状況になったときに、セーフティーネットになれるような計画になるとよい。</p>
委員	<p>「多様な価値観や個性が尊重される」とあるが、一人一人に対応するのは不可能に近いと感じる。また、尊重されるとあるが、尊重されるべきは、若者だけではない。「自分らしさ」についても、どこまでの人が自分らしさを理解できているのかを考えた時、難しさを感じる。小さな幸せだとしても、否定されない社会というのが重要だと感じる。</p>
事務局	<p>いただいたご意見を踏まえて、工夫しながらもう少し検討し、次回もしくは次回分科会前までに、お示しできるように整理したい。</p>
事務局	<p>4 その他 長野市子どもの権利条例（案）について説明</p>
	<p>5 閉会</p>